# TEL: 0259-63-5117 (受付時間 土日祝日除く8:30~17:30)

した。会報では、

# 棚田であそぼう! 「どろんこバレー



第22回全国棚田(千枚田)サミッ 平成28年に佐渡市で開催される、 催しました。このイベントは、 そぼう!どろんこバレー」を開 員の片野尾集落にて、「棚田であ イベントとして行われ

総勢約

徐々に

晴れ た天気も

間

見られるなか、

・ベント

には島内外から6チーム、

られ、一 ちで賑わいました。 ら大人まで観戦する人た Oトープに張ったコー 人をはじめ、子どもか 者の熱戦が繰り広げ 周囲の畦には集落 40名が参加。ビオ トで

片野尾・ の塩むすび、地物野菜の 皆笑顔で棚田米を味わい 吹く心地よい 参加した人たちは棚田に 睦を深めました。 け物などが振る舞われ、 お昼休憩には、佐渡 田 米(月布施・岩首・ 猿八・北片 風のなか、 優勝



所には、 現状や今後の課題、また、 の棚田の魅力など、様々 加 な意見交換が行わ め島内外から25名程が参 Ĺ 会場となった岩首談義 外の方々から見た佐渡 佐渡の棚田保全の 集落の方 々を含 まし

ピックアップ討論

持できている。 渡の棚田は地域で耕作し維

と題して小討論会を開催

しました。

と棚

田

地域のこれから」

お越しいただき、「棚田

ネ 月

ットワー

0 O

方々

Ν

法

維持管理されているのに対し、 ナー制度や行政の協力を得て 棚田は、棚田保存会によるオ 現在、全国に点在する多くの

果が今につながっている」「昔 きる限りは続けようという結 して人と人とのつながりが今 米作りで成り立っている」と、 からの結の形 (精神)をとった に「個人の財産であるから、 その秘訣は何か、という問い 々の米作りへの取り組み、そ

いますが、

か

集落をイメ

中島

峰広

プロフィ

な棚田 を応援 は、これからも元 落」に成ります。 います! は、「元気かいた気合の気を入れ 佐渡棚田協議 地域の発展 たいと 気 会



# を ました。

# 棚田協 佐渡棚田協議会会長

大石

郎

早稲田大学名誉教授NPO棚田ネットワ

・ク 代表

中島

峰広

佐渡棚田協議会」会報の発刊に寄せて

11月に和歌山県有田川町で開催された全国棚田(千枚田)連絡協議会総会で正式決定されま平成28年度に開催される「第22回 全国棚田(千枚田)サミット」の佐渡市での開催が、平成25年

このサミットの開催に向けた佐渡棚田協議会の取り組みを随時レポートいたし

全国棚田(千枚田)サミッ

1

 $\dot{O}$ 

開催

向け

拶をさせてい 迎える事が 方のご協力で、 げさまで3 ただきます。 出 会会報発刊に 目お 渡棚 あたり、 田 協議 一言ご挨 会も



N P O

# 佐渡棚田米試 食

販売レポー

売を島内外で開催しまし 北片辺、猿八)の試食販 平成25年産の佐渡棚田 (岩首、片野尾、 月布施、

○2月23日

山田屋

○2月2日

佐渡特選市場

①12月7~8日 平成25年 田屋

> シータウン ○3月1~2日



佐渡セントラルタウン内

[Early Summer Festa] ○6月14~15日 ○7月16~22日 日本橋三越 世界農業遺産フェア」 おかげをもちまして、 新潟駅南 

炊飯器をそれぞれ開けると した。 月で棚田米は完売いたしま 漂ってくる香りの違いを感 にぎりにする作業は大変で 5つの地域の棚田 お客様からも、 同時に炊き始めて、 一米をお

のではない

かと思い

サイト「エコプロダクツ2 ○12月12~14日 13 東京ビッグ

平成26年

新潟駅南イ

味が違うとの声が聞かれ ました。

地域のお米を買っていたべ比べをし、気に入ったとがない方も5地域の食 が良く、 棚田に関心を持ってい 他地域のお米を食べたこ だけるきっかけになった だきました。島内の方に での試食販売の売れ また、予想以上に島内 なかなか 佐 行き 渡の

○3月1~2日 佐渡汽船(佐渡セントラルタウン内

# 佐渡の棚田米は、お電話・通販サイトからご注文いただけます!

平成25年度は完売しました。 平成26年度産の新米は、 10月下旬の販売を予定しております。

- ◆お電話はこちら 0259-63-5117
- ◆通販サイトはこちら http://shop.sadotanada.com





# 「棚田地域での農作業体験・援農活動や、 棚田ネットワークとは 棚田学会会長、NPO 都市地域での棚

田の多面的機能に関する普及活動などを行い、都市と農山村

の人々が相互に理解し協力し合える関係を作り上げること

持続可能な循環型社会を創出する」ことを目的に

掲げ、さまざまな棚田支援活動を展開しています。

法人棚田ネットワーク代表を務め、今もなお 日本中の棚田を巡っている。 百選の選定委員や、 棚田研究の第一人者。農林水産省日本の棚

の勢いをもって、 上がることを期待したい。 保全の気運は急速に高まったように思う。こ AHSによる世界農業遺産認定後、 (千枚田) サミットに向けて一層盛 保全の取り組みが2016年開 佐渡の

の全国棚田

田

# 岩首昇竜棚田

とも

猿八集落は佐渡

猿八棚

田

田

小倉千枚田

棚田です。 に広がる、 、時代頃から開田が進み、 岩首 6 0 継がれた田んぼは現在 4 5 0 形状を残しながら受 枚ほど。 集落の棚田は、 メー 急峻な里山 標高 3 0 間

から眺めても絶景と言わ岩首の棚田は上下どちら 名前の由来となりました。 うに見え「昇竜棚田」の まるで昇っていく龍のよ 右にうねりながら上へ上 と連なる棚田の様が、 落葉広葉樹の合間を左



流水で栽培しています。 300メートルほどの棚 この自然のフィルターを 田に直接引き込み、自然 からの澄んだ沢水を標高 小佐渡の高峰「経塚山\_ 台にあります。 仲平野を見晴らす

安全、そして味わ た環境のなかで丹精に仕 上げられたお米は、安心・ ています。 周囲を大自然に囲まれ





他にも清水が湧き出し、 月布施棚 うことです。 は、

ぼの管理は大変ですが、 施の田んぼは昔から『隠 の方に協力いただきなが 集落や島外ボランティ 田一つ一つを潤します。 らかな湧き水は、その 散在しています。 する必要のなかった月布 いたる所に小さな棚田 し田』と呼ばれ、集落 散在している分、田 急峻な土地を流れる そのため、 維持管理に取り組 区画 整理





冷

田んぼ 田んぼ

い清水を使い、出んぼの水は山か

から

保全活 ます。 を取り 現 在  $\mathbb{H}$ 成 廃田となり その大部分 生産性などの 0 声 20 が 年 管 は 理 棚 組 上頃 八れながら、 伽田オーナ・ がか 合 が休耕 が 設 立 田 ん で 制

かった田・ 田んぼは、日本のでは、日本のは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本 かり、小倉千枚がら千枚田復活 理由 品により、 管 歩 され、 一や荒 理ほ P

あ

b

あ 間

境

で

育 夜

て 0

5

が長く昼 る環

温

れ 度

11

、ます。





でる棚田です。の入らないよう

ような田

 $\lambda$ 

O

非常に勾引

र् が急

機

農峻

配

で一

片野尾の棚田

早朝には朝霧が稲を覆い、 広がっています。 水は田んぼから田 れる昼夜の寒暖差から、 標高が高いことで生ま の自然が育む冷たい 少ほど、大小の田代の棚田は全体で の林道近くまで んぼ 清

だシベリア卸の です。 岸段丘の上に広がる棚田金北山の麓に位置し、海 金北 なかで唯一佐渡島の北側、 北片辺棚田 ミネラル分を豊富に含ん 目の 佐渡棚田協議会会員の

佐渡棚田協議会会員になる

佐渡は、中山間地域の棚田等の景観や伝統文

化、農法が認められ、平成 23 年に「世界農

業遺産(GIAHS:ジアス)」へ登録されました。

このかけがえのない財産を次世代へ継承する

「棚協」)が設立され、佐渡の棚田地域が気持 つにしながら生産活動を行い、

佐渡の棚田保全活動や発信活動、地域間の連

携交流活動など、協議会会員として相互に協

力し活動いただける個人・団体会員様を随時

団体会員 3,000 円 / 個人会員 1,000 円

全に努める取り組みが始まりました。

募集しております。

翌平成 24 年に佐渡棚田協議会(通称

前

の日本海

から

解け らは、 清水が流れ込  $\mathcal{O}$ の大佐 んやりとした雪 渡 厳 Щ し みま 脈が潮

表されたことで全国に広 り聞き「夕鶴」として発 劇作家・木下順二氏が語 た民話「鶴女房」は、 北片辺で語り継がれて

のお米はぎゅっと

米へ

とし

自

然環境のなか、

片野

尾

は短いですが、これら

短いですが、これらの平野の田より日照時間

成長していきます。 まった美味しいお

生活環境と自然との

を考えたビ

オ

卜 1

プ関

挑戦し続けています。

米づくりに今もなお

無農薬、

減農

と行き渡ります。

まりました。民話の里・ 北片辺で作られたお米は、 と名付けられました。



# 佐渡棚田協議会に参加しよう!

佐渡棚田サポーターになる!

佐渡棚田協議会では、佐渡の棚田の保全を一 緒に考え、活動していく佐渡棚田サポーター を募集しています。佐渡の棚田保全にご興味 のある方、一緒に保全活動をしていただける 方など大歓迎です!!

棚田米 2kg をプレゼント、会報誌(年2回)や イベント案内のお届けのほか、佐渡棚田協議 会が主催するイベントへ優先的にご参加いた だけます。

## 【年会費】

個人会員 3,000 円

家族会員 5,000 円 / 法人会員 5,000 円

賛助会員 1口 1,000円

サポーター・協議会員に関する、お申込み・お問合わせは 事務局へ(佐渡市農林水産課)

TEL 0259-63-5117 / WEB サイト http://sadotanada.com

## 事務局便り

この度、会報第1号を皆様にお届けすることができ大変うれしく思っております。 ご感想はいかがでしたでしょうか。佐渡棚田協議会は平成24年6月に誕生し、これまで昨 年 12 月にホームページを開設するなどで PR をしてきましたが、やはり、紙媒体の情報発信 が必要とずっと思っておりました。今後とも佐渡棚田協議会の活動にご理解・ご協力をよろし くお願いします。(F)

## 次号のお知らせ (予定)

次号の会報誌は2月頃に発行予定です。 稲刈りや新米情報、棚田の秋・冬の様子をお届けい たします。佐渡の棚田に関する最新情報は 「佐渡棚田協議会ホームページ

(http://sadotanada.com)」にて随時配信中!!

